

2016.11 清心人間生活/過去問

人間活動の24時間化のメリットとデメリット

日本の都市の夜は、街灯だけでなく、24時間のコンビニエンスストア、ガソリンスタンド、レストランの明かりで明るく照らされている。それは人間が24時間活動していることを象徴している。この人間活動の24時間化には、どのようなメリットとデメリットがあるのだろうか。

メリットとしては、便利さが挙げられる。24時間利用できる施設があれば、自分の生活スタイルに合わせて仕事や勉強をし、食事をとり、娯楽を楽しむことができる。また、夜間の人や交通量が少ない時間帯なら、効率よく道路工事や商品の輸送をすることができるだろう。治安の面でも、明るい街は人々に安心を与えるに違いない。

デメリットは、エネルギーを無駄遣いしていることだ。深夜や未明はどうしても店舗の客が少ない。それでも照明や冷蔵庫、冷凍庫、エアコンを稼働させなければならない。これでは電気やガスを効率的に使っているとは言えず、不経済だ。また、昼夜逆転した生活を続けることは、身体のリズムを崩し、健康に悪影響を与えるかもしれない。

以上のことを踏まえると、私は深夜や未明の活動は必要最小限に控えるようにすべきだと考える。ただ、人間活動の24時間化は社会の仕組みが必要としている結果であり、深夜や未明の活動を減らすには、社会の構造や人々の価値観を同時に変えていく必要があると考える。